



「思わず寄りたい」

お店づくりにチャレンジ【第6回】

テーマ2: 什器編 その1 (陳列機能)

今回から「什器」編として“陳列・在庫・演出”の三大機能について具体的に説明していきます。これからの対面販売強化策の中で、陳列機能が重要になってきます。まずは、イラストのウインドーケースをモデルとして、“陳列機能”について考えてみましょう。

らんま看板部分

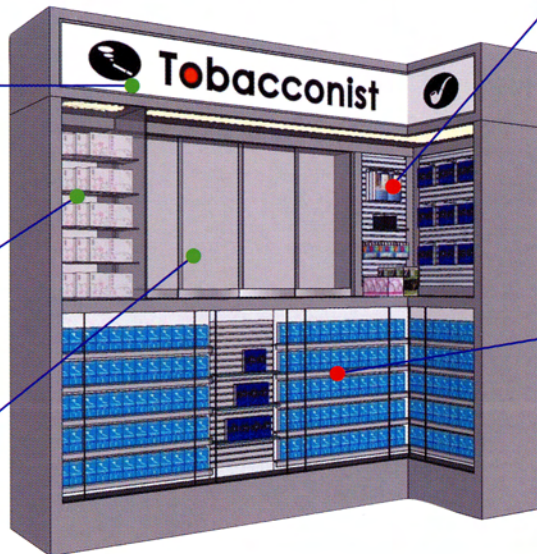
らんま看板を内照式にし、下部分のハイライトルーバー(明かりを柔らかなものにする器材)で中間部全体の明るさをカバーできます。

ガラス棚

季節感の表現や新商品の紹介・カートンの陳列等、工夫次第でお店の個性が出せます。

ガラス引き違い戸

営業中はガラス戸を広く開放して、お客様とのコミュニケーションの場として活用できます。



改善のポイント

- ファサード(店舗正面外装)と同様に“間口感・高級感・清潔感・明るさ”を表現します。
- 狭いスペースでも“ボリューム感”が必要です。
- “自在(フレキシブル)機能”を持つ陳列パネルが必要です。

自在(フレキシブル)機能

フレキシブルパネルを使用することにより、吊り下げ用フックあるいは陳列用の棚を、目的や在庫量に応じて取り付けることができます。携帯灰皿やライター等の小物を陳列したりするのに便利です。



明るさ・ボリューム感

バックパネルを内照式にすることにより、全てのダミーが明るく浮き上がる効果が得られます。1銘柄でも多くのダミーを並べて圧倒的な“ボリューム感”を出しましょう。

バックパネル内照式について
蛍光灯(a)と反射板(b)を使い、さらに球管に拡散フィルム(a)を巻くことにより、ダミーを裏から明るく照らす構造です。

